

みずほCustomer Desk Report 2022/11/15号 (As of 2022/11/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	139.67
TKY 9:00AM	139.61	1.0328	144.22	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.79	1.0368	145.24	1.1793	0.6696
SYD-NY Low	138.40	1.0272	143.54	1.1829	0.6723
NY 5:00 PM	139.93	1.0327	144.45	1.1714	0.6664
				1.1760	0.6702

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,536.70	▲ 211.16	日本2年債	▲0.0500%	0.0100%
NASDAQ	11,196.22	▲ 127.11	日本10年債	0.2400%	0.0100%
S&P	3,957.25	▲ 35.68	米国2年債	4.3983%	0.0703%
日経平均	27,963.47	▲ 300.10	米国5年債	3.9941%	0.0591%
TOPIX	1,956.90	▲ 20.86	米国10年債	3.8621%	0.0524%
シカゴ日経先物	27,955.00	▲ 165.00	独10年債	2.1575%	0.0010%
ロンドンFT	7,385.17	67.13	英10年債	3.3460%	▲0.0055%
DAX	14,313.30	88.44	豪10年債	3.7540%	0.0960%
ハンセン指数	17,619.71	294.05	USDJPY 1M Vol	13.26%	0.03%
上海総合	3,083.40	▲ 3.89	USDJPY 3M Vol	12.00%	▲0.08%
NY金	1,776.90	7.50	USDJPY 6M Vol	11.24%	▲0.07%
WTI	85.87	▲ 3.09	USDJPY 1M 25RR	▲0.81%	Yen Call Over
CRB指数	282.16	▲ 3.63	EURJPY 3M Vol	11.52%	▲0.27%
ドルインデックス	106.66	0.37	EURJPY 6M Vol	11.33%	▲0.22%

東京	マーケットオープン後に138.40まで下値を更新後、徐々に買戻しが入る中、東京時間のドル円は139.61レベルでオープン。仲値にかけては断続的に買いが入り139.75まで上昇したものの、一服すると再度138円台まで下落。ただその水準で下げ止まるとほどなくして139円台を回復。その後は先週から続くドル売りの流れと約2ヶ月半ぶりの円高水準を受けた買い需要が交錯し139円台前半で方向感のない推移が中心となり、139.41レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は139.41レベルでオープン。午前はクロス円を中心に円安が進行し、一時140.79まで高値を伸ばした。一時2円を超えたポンド円の上昇が顕著だった。上昇一服後は円の買い戻しが優勢となり、反落。140.14レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週末にCPIをトリガーにしたドル売りが強まり、海外市場でドル円は138.40まで下落したものの、その後はクロス円の買いから下値をサポートされ、140.79まで戻し140.14レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は海外市場の流れを引き継ぎ140.70まで戻すが、ブレイナードFRB副議長が、「おそらくもうすぐ利上げのペースを減速させることが適切になるだろう」との発言を受け、米金利が低下する流れにドル円はじりじりと上値を切り下げ、139.66まで下落し、139.93レベルでクロスした。一方、ユーロはドル売りに海外市場で1.0368まで戻したものの、その後はドルが買い戻される展開に1.0272まで反落し、1.0335レベルでNYオープン。朝方はドル買いが継続したことから1.0299まで下落するものの、ブレイナード副議長の発言を受け米金利が低下する動きに1.0359まで戻す。終盤に掛けては特段のニュースは見当たらなかったものの株式市場が下落する動きにユーロは上値を切り下げ1.0327レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・多川

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想

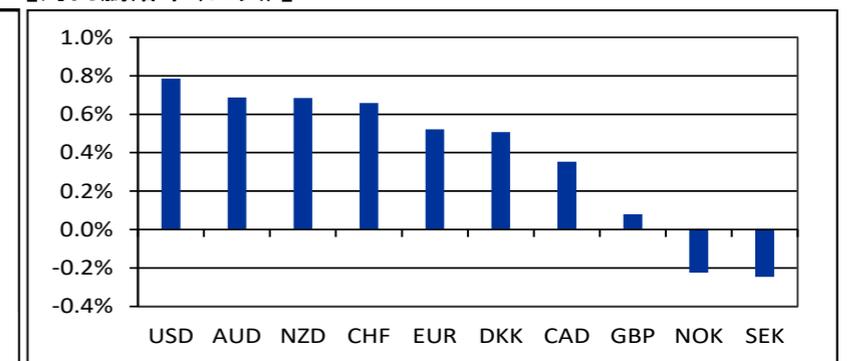
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	3Q P 1.2%	3.5%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	3Q P 0.3%	0.9%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	3Q P -0.6%	-0.3%
	19:00	独 ZEW景気期待指数	11月 -51.0	-59.2
	19:00	独 ZEW調査現状指数	11月 -69.3	-72.2
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q P 0.2%/2.1%	0.2%/2.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	11月 -6.0	-9.1
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	10月 0.4%/8.3%	0.4%/8.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.50-142.00	1.0200-1.0400	143.00-146.00

【マーケット・インプレッション】

昨日マーケットオープン後、シドニー時間に138.40まで下値を更新後、徐々に買戻しが入る中、東京時間139.61でオープン。仲値にかけては断続的に買いが入り139.75まで上昇したものの、一服すると再度138円台まで下落。売り巡り後139円台を回復し、139円台前半で方向感のない推移が続いた。海外時間ではクロス円を中心に円安が進行し、NY時間に一時140.70まで高値を更新するも、ブレイナードFRB副議長が、「おそらくもうすぐ利上げのペースを減速させることが適切になるだろう」との発言を受け、米金利が低下する流れにドル円はじりじりと上値を切り下げ、結局139.93でクロスした。  
 本日のドル円は、上値の重い展開を予想。本日は五十日となっており、日中は実需のフローに降らされる展開となろう。一方で138円台半ばでは底堅く、140円を超える水準では上値重い展開が継続。今晚米PPIの発表を前に本日も株価や米金利の動向をにらみつつ様子見姿勢が強い相場となろう。